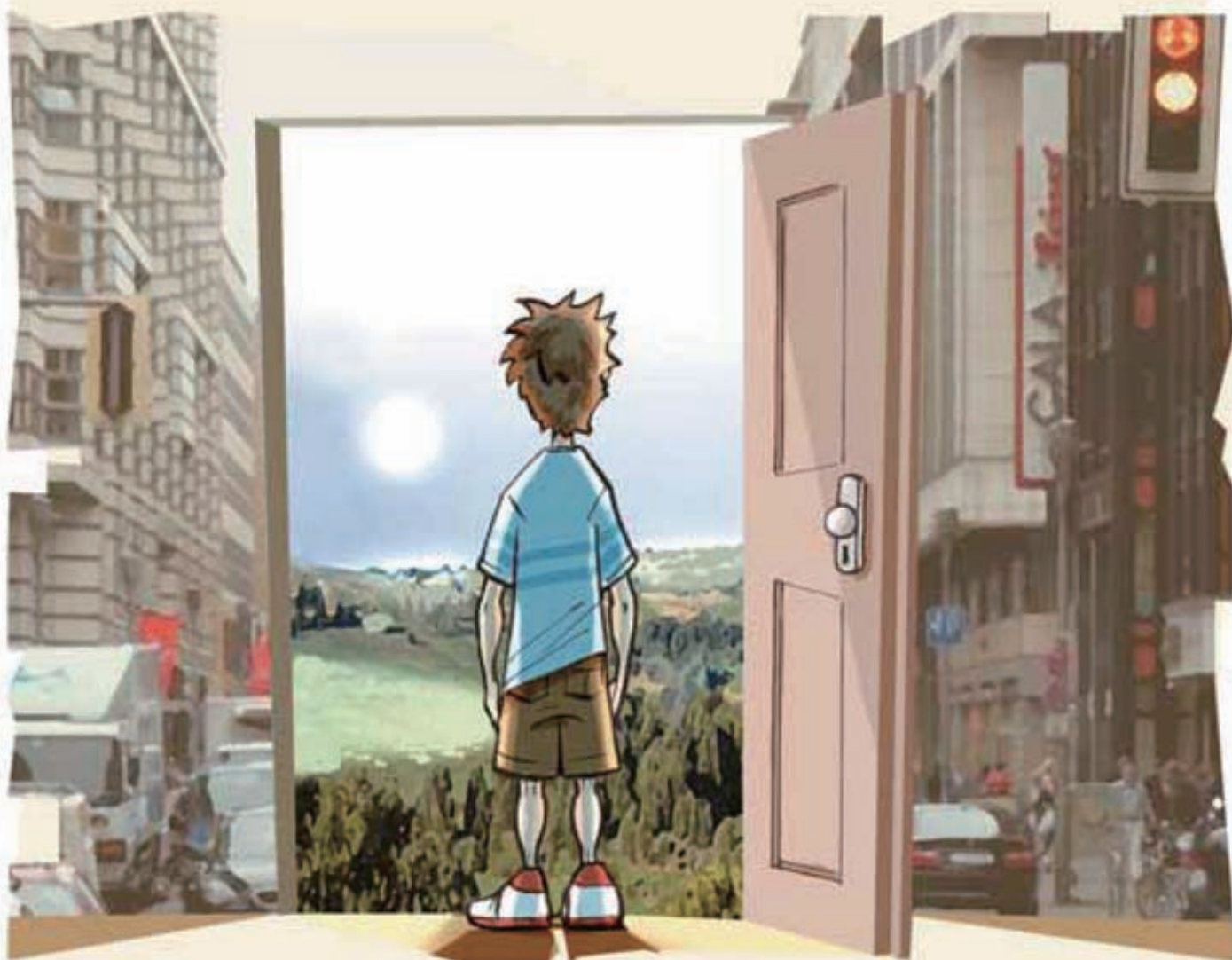


国立公園と生物圏保護区

人間と自然のための区域



レーンの生物圏保護区

ビオナは、学校へ行く途中でアイシェと会いました。「『ブラックマウンテン』で仕事をするようになったって話したっけ？」

アイシェが戸惑った表情でビオナを見ます。「それって、どういう意味？」アイシェが聞き返しました。「ブラックマウンテンは、ヘッセンとチューリングゲン、バイエルンの3つの州にまたがるレーン地方にあるのよ。そこの自然保護ステーションで仕事をするようになったの。おじさんがそこで働くために力を貸してくれたのよ。おじさんは、その地方の観光局で宣伝の仕事をしているの。『レーンはいいいところ』これがおじさんたちのスローガンよ」

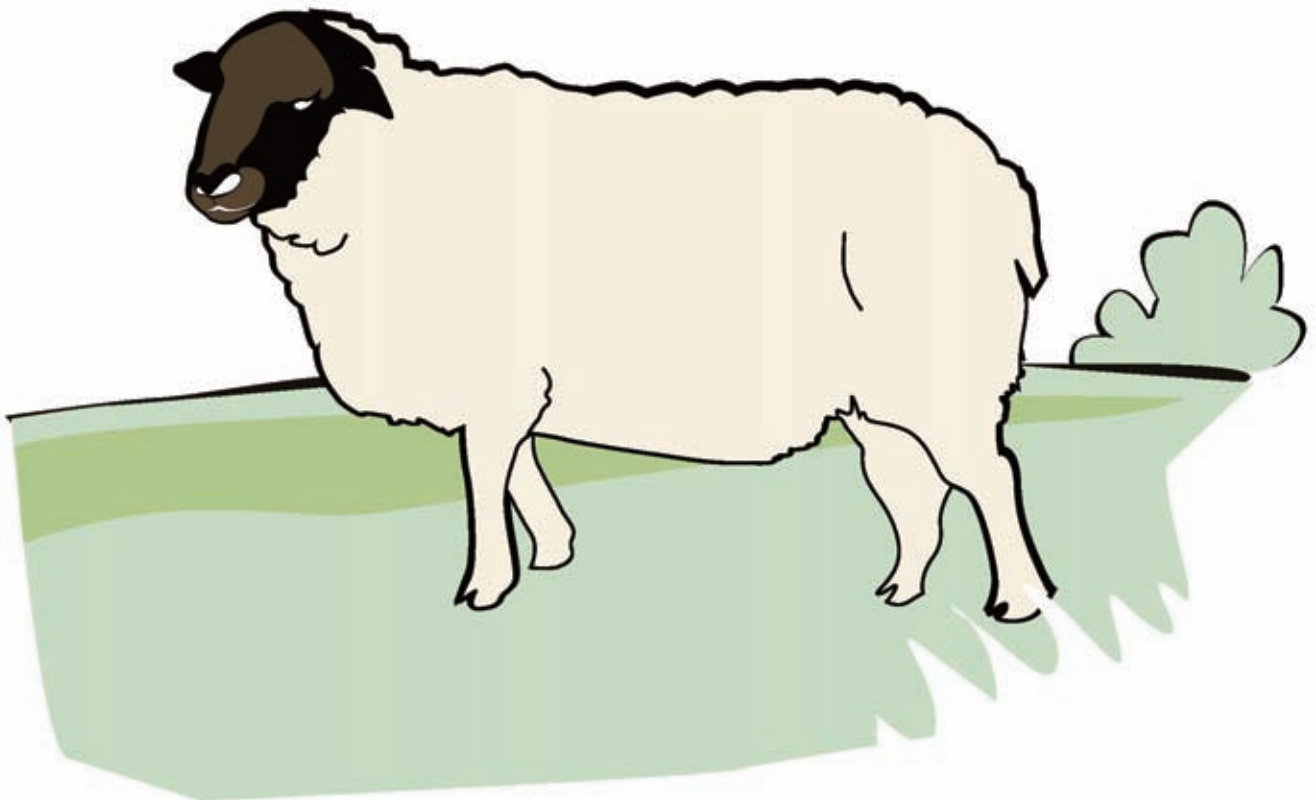
「人の手が入らなければね」と、突然話に加わったマニュエルがちゃかします。

「ばかな冗談はやめてよ」ビオナが言い返しました。「すてきな所なんだから。写真もみたわ。人は少ないの。おじさんたちはね、美しい自然を保護するだけじゃなくて、そこに住む人たちの雇用も生み出しているんだから。それがレーン生物圏保護区がある理由だし、私が仕事しようとしているのもそこなのよ。そこにはね、立ち入り禁止区域もあって手つかずの自然になってるけど、別の区域では羊を育てているし、観光客やスポーツをやる人からの収入もあるのよ」

「どんなスポーツをやる人がいるの？」怪訝な顔でアイシェが訊ねます。

「グライダー、マウンテンバイク、登山ってところね」ビオナが答えました。「レーンは、そんなスポーツでも有名な所なの。でもね、一番大事なのは、なんといってもレーン羊ね。レーンといえばレーン羊、って感じね」

「自然保護区に羊の群れ？ありえないよ。目に付いたものなら何でも食べちゃうのが羊なんだよ。」マニュエルが言いました。「いったいどんな保護なんだい？」



レーン羊

レーン地方では、長い間、レーン羊が広く飼育されていました。荒地に適合した種で、羊の牧畜は、この地方、特に他の土地利用が不可能な地域の文化景観を形作ってきました。羊やヤギが飼育されていると、木や藪が食べられてしまうため、土地がむき出しになります。

およそ 150 年前、化学肥料や近代農機によって、それまで羊の牧畜しかできなかった地域を、別の方法でも利用できるようになったため、レーン羊の数が激減しました。オーストラリアとニュージーランドから輸入されたラムとの競争もその原因の 1 つでした。羊がいなくなるにつれて、レーンの特徴的な文化景観も失われたのです。羊の牧畜が不経済となり、多くの羊飼いがその仕事を離れました。

この種が絶滅を免れたのは、ひとえに熱心な人々の努力によるものです。1988 年、自然保護団体が「レーン羊プロジェクト」を開始しました。このプロジェクトの成功によって、地域の特性としてのレーン羊が再発見されたのです。他の種の羊と比較すると、とれる肉の量は 1/3 ほど少なくなりますが、肉質がよく、輸送距離が短いので新鮮な有機飼育肉を提供できるため、羊飼いたちの収入も悪くありません。

最近では、高原の牧草や荒地の植物を食べる十分な数が戻ってきて、レーン地方特有の希少植物や希少動物の保護に一役かっています。ほとんど絶滅しかけた家畜が、現在では他の種を絶滅から保護するようになったというのが現状です。このような環境的な価値に加えて、牧羊から精肉業、飲食店に至るまで、レーン羊の直接販売で利益を得てそれで仕事を維持している職業が非常に多く存在しています。またレーン羊は、非常に有名となりこの地方といえばレーン羊と認識されるようになったのです。

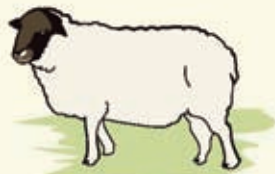
今日では、レーン羊がレーン地方の広告塔となり、旅行産業にも貢献しています。



農家



精肉店



レーン羊



宿泊施設



観光



演習：

1. さまざまな角度からレーン羊の利点を評価してください。経済的、環境的、社会的な側面を分けて考えてください。
2. ここでは、羊を中心に話が進められています。人々との関係は、どうなっていますか？図に矢印を書き込んで説明してください（例：羊が肉を供給しているなど）。

自然保護区は、どのように計画されるのか？

週末にサイクリングに出かけたときにビオナは友達に仕事について詳しく説明しました。

「新しい保護区の計画づくりに実際に参加したのよ」誇らしげにビオナが説明します。「地図を出して、大型の保護区を計画したのよ。専門家って感じだね。実際、簡単じゃなかったわ。保護区の目的は、その地域に毎年巣を作って、子育てする何組かのナベコウ（コウノトリの一種）を保護することだったの。そこは、人々が余暇を過ごす場所にもなってるの。レジャースポーツをする人には有名な場所だってことは、前にも話した通りよ」

「で、どんな風にしたんだい？」フェリックスが知りたがりました。

「家に帰ったら見せてあげるわ。そこで働いていた時の記念に仕事の資料をいくつか持って帰ってきたから」



演習：

ワークシート4の地図を詳しく調べて、理想的な自然保護区を計画してください。人による利用と自然保護との妥協点を見つけてください。ワークシート3の表には、ビオナ、フェリックス、アイシェ、マニュエルの4人がこの調査で見つけたような自然保護区の条件が記載されています。

ヒント：道路や小道を色分けしてください。国立公園や生物圏保護区と同じように、利用可能なゾーンと保護が必要なゾーンを分けてみるもの有効です。

重要：国立公園と生物圏保護区との違いを詳しく調べてください。情報シート1～3が役に立ちます。

自然保護区は、どのように計画されるのか？

次の表は、自然保護区を計画するのに必要なすべての情報をまとめたものです。ここに示した制限以外でも、どのような自然保護区にしたいのかに応じて自由に設計してください。

対象	必要条件
野生動物	毎年、2組のナベコウが子育てに訪れます。ナベコウは、とても用心深い鳥です。500メートル以内に脅威を感じると、飛び去ります。したがって、子育ての時期には、人が500メートル以内に近づかないようにしなければなりません。
家畜	羊の群れがヒース（牧草の一種）を食べられる状態を保つ必要があります。羊が他の場所に侵入しないように、牧草地をフェンスで囲う必要があります。このため、牧草地の境界線以外の場所で遊歩道と牧草地を交差させてはいけません。
人 a) 訪問、道路、 駐車場	このエリアに行くための舗装道路が必要です。高速道路から自然保護区までの舗装道路を作ります。アスファルトで覆う面積を最小限に抑えるために、舗装道路は、できるだけ短くする必要があります。幅は、最低でも遊歩道の2倍は必要です。橋を架けてはいけません。訪れる人のために駐車場を確保します。最低でもバス2台と乗用車35台が駐車できるスペースを用意してください。
人 b) 一般	自然保護区の中には、来訪者が周囲を見渡すことができる展望台を作ります。展望台は、自然保護区の奥深くに入り込まないように計画しなければなりません。展望台の近くに、食べ物や飲み物を売るための売店を作ります。
人 c) ハイカー	巡回型の遊歩道が小川に沿って展望台までの間を通ることとします。遊歩道を舗装してはいけません。多くの来訪者が真夏に来ることになるため、日陰を通るようにすることが望まれます。遊歩道は、周遊できるものでなければなりません。
人 d) 身体障害者	特に身体障害者のために、展望台までの間に舗装した遊歩道を作ります。車椅子で安全に移動できるものでなければなりません。傾斜は、できるだけ小さくしてください。
人 e) 余暇／スポーツ	隣接するスポーツクラブができるだけ傾斜の大きい自転車用のコースの造成を希望しています。安全上の理由から、ハイカーによるこのコースの利用は禁止します。自然に出发点に戻ってくるような閉じたコースにするのが理想的です。

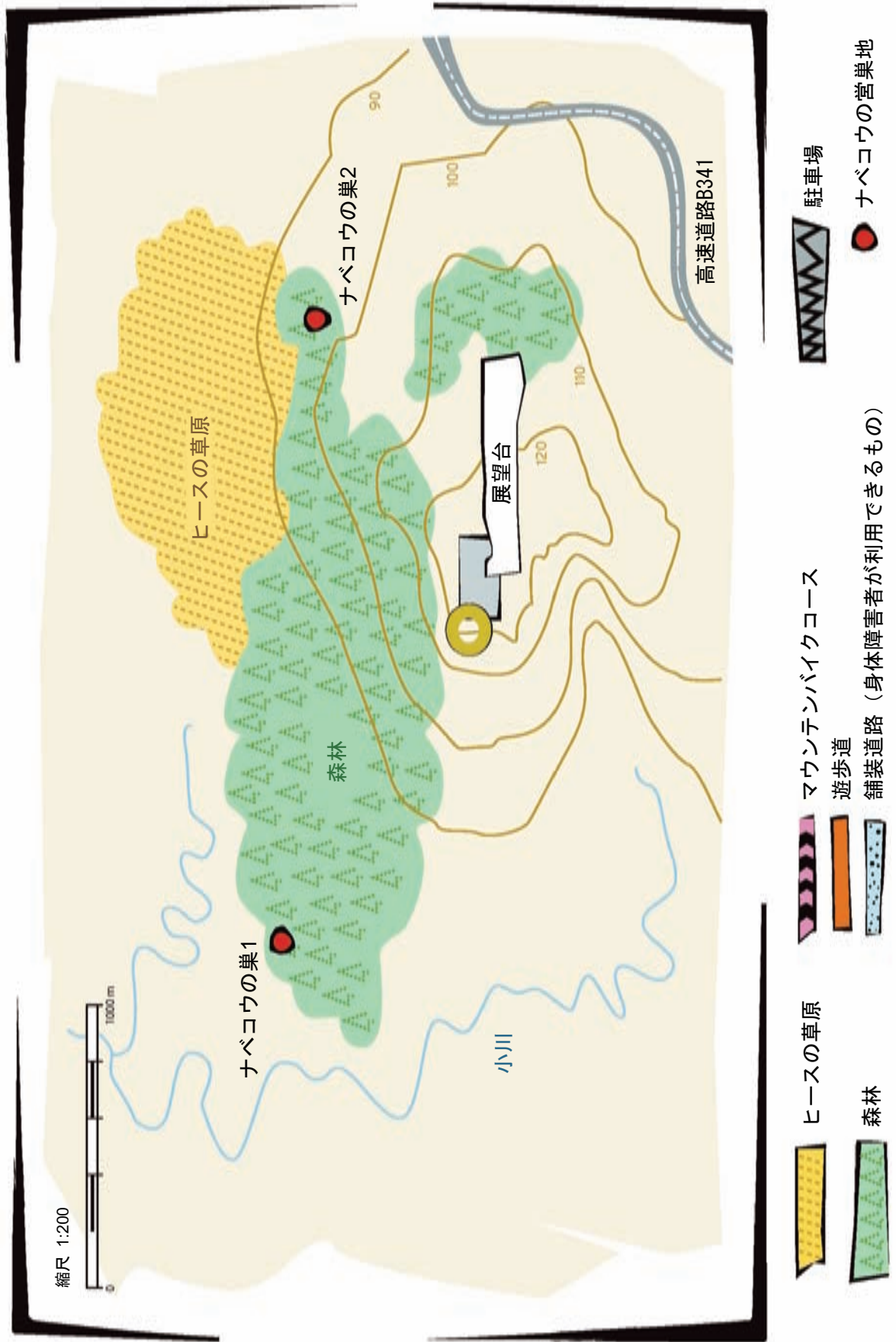
国立公園と生物圏保護区

人間と自然のための区域

ワークシート4

© 2008 Federal Ministry for the Environment, Nature Conservation and Nuclear Safety

生物多様性の保護一概要



自然へのご招待

国立公園と生物圏保護区—人間と自然のための区域

情報シート 1

© 2008 Federal Ministry for the Environment, Nature Conservation and Nuclear Safety

国立公園と生物圏保護区—生物多様性を保護するための2つの解決策

国立公園は、もっとも古い形の保護区です。1872年にアメリカ合衆国のイエローストーン国立公園が世界で最初の国立公園に指定されました。およそ100年後にドイツで最初の主要な保護区としてバイエルンの森国立公園が作られました。その後もいくつかの国立公園が指定され、統一後には、東ドイツにも国立公園が作られました。今日、ドイツには15の国立公園があります。国立公園では、自然がそのままの状態に保護され、植物相や動物相に影響を与えないように、可能な限り人が入らないようにしています。

国立公園では、林業や農業が禁止され、道路も整備されていないため、人が入ることはめったにありません。森は、森の意思にまかされています。人が倒木を片付けることもありません。特に用心深い動物や無傷の生息地域を必要とする動物の楽園になっています。ですが、国立公園を訪れることは可能です。周辺の一部は、観光客に開放されています。ただし、中核部は立ち入り禁止であり、科学者であっても特別な許可が必要になります。

生物圏保護区というのは、比較的新しい概念です。1970年、UNESCOは、より自然に優しい環境利用の推進と新しい保護区モデルの創設を目的として、「人間と生物圏」計画を開始しました。国立公園では、人による利用は完全に禁止されていますが、生物圏保護区というのは、実際にはヒトを中心に据える戦略です。ヒトを中心に据える理由は、生物圏保護区の文化景観というものが人間活動（通常はその地域特有の農業のありかた）を反映したものになるからです。生物圏保護区の中では、絶滅の危機に曝されている野生の動植物やその地域特有の家畜、地域特有の伝統農法や環境に優しい伝統的な管理方法とともに、こうした文化景観が維持されます。生物圏保護区は、環境に優しい方法で何ができるのかを実証すること、農業、林業をはじめとするさまざまな活動を持続可能で自然に優しい方法で行うことを目的としたものです。

したがって、これら2つの保護戦略は、互いに補い合うものとなります。国立公園は、手付かずの自然を残すための区域、生物圏保護区は、持続可能な方法で人間が利用するための区域となります。

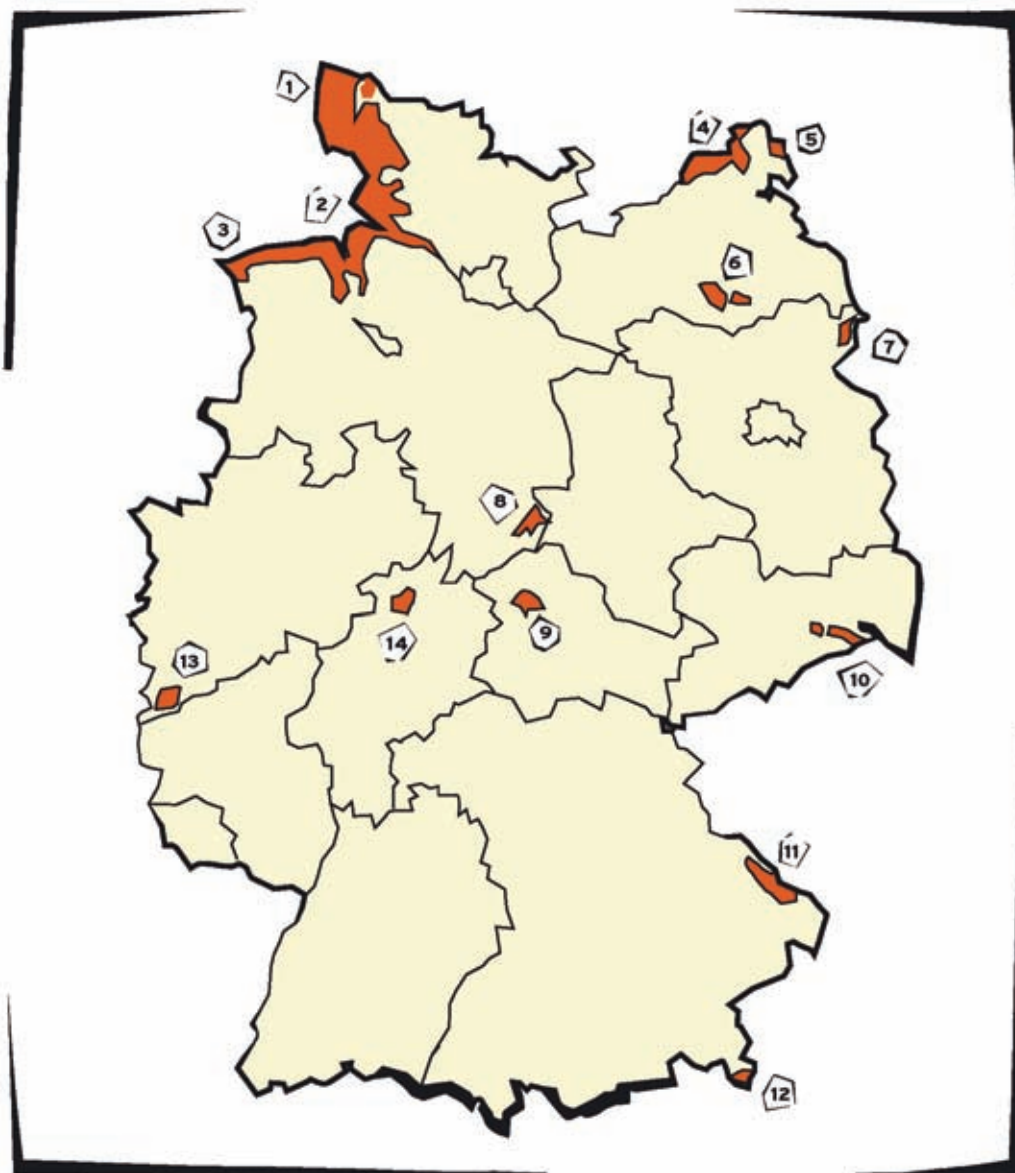
自然へのご招待

国立公園と生物圏保護区—人間と自然のための区域

情報シート2

© 2008 Federal Ministry for the Environment, Nature Conservation and Nuclear Safety

ドイツの国立公園



1. シュレスヴィッヒ・ホルシュタイン干潟国立公園 (生物圏保護区)
2. ハンブルク干潟国立公園 (生物圏保護区)
3. ニーダーザクセン干潟国立公園 (生物圏保護区)
4. フォアボンメルン入江地方国立公園
5. ヤスマント国立公園
6. ミューリッツ国立公園
7. オーデルタール (オーデル渓谷) 下流国立公園
8. ハルツ国立公園
9. ハイニッヒ国立公園
10. ザクセンスイス国立公園
11. バイエルンの森国立公園 (生物圏保護区)
12. ベルヒテスガルテン国立公園 (生物圏保護区)
13. アイフェル国立公園
14. ケラーヴァルト・エーダー湖国立公園

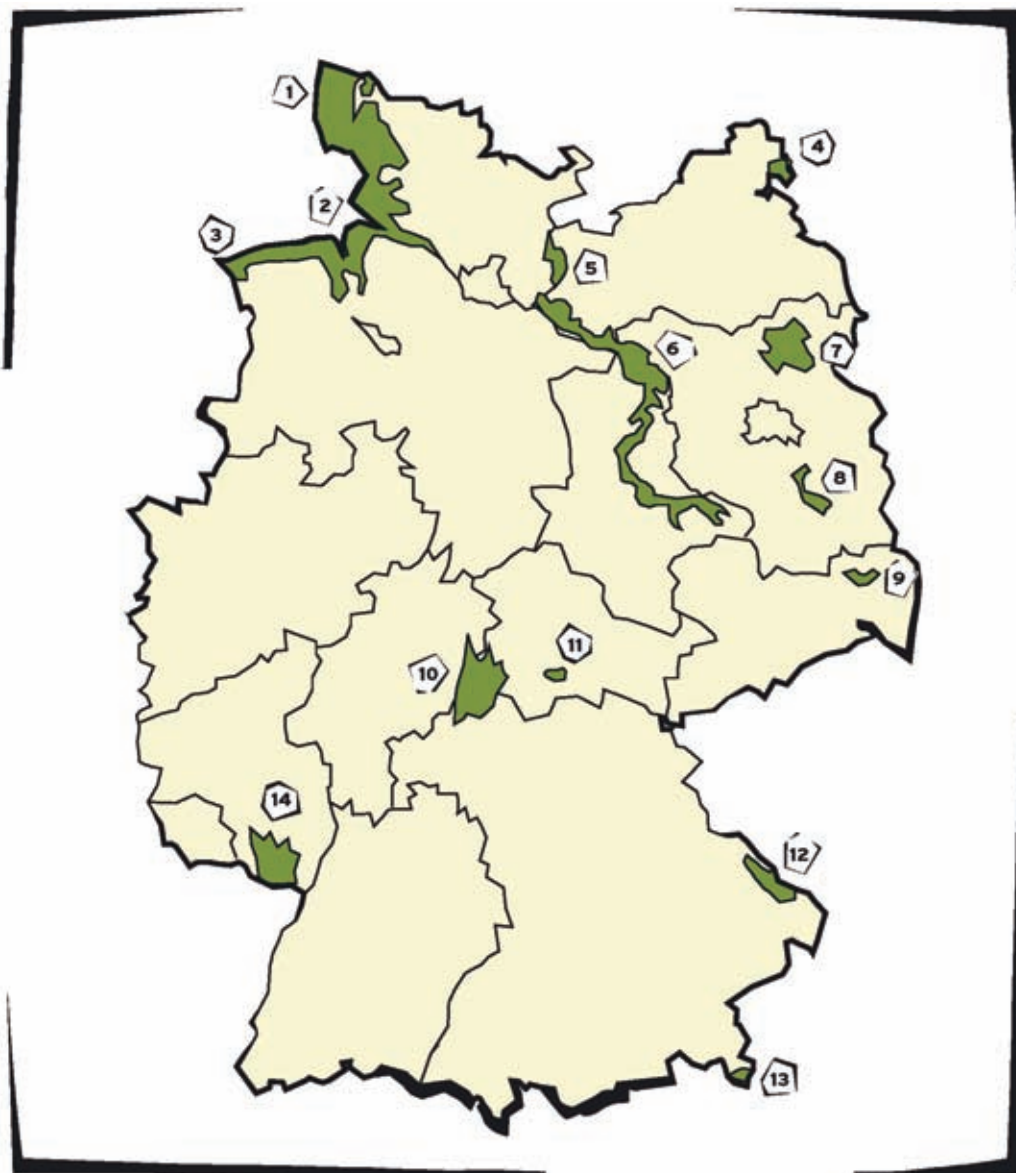
自然へのご招待

国立公園と生物圏保護区—人間と自然のための区域

情報シート 3

© 2008 Federal Ministry for the Environment, Nature Conservation and Nuclear Safety

ドイツの生物圏保護区



- | | |
|---------------------------------|---------------------|
| 1. シュレスヴィッヒ・ホルシュタインのヴァデン海とハリッヒ島 | 8. シュプレーヴァルト |
| 2. ハンブルグのヴァデン海 | 9. オーバーラウジツァーの原野と沼地 |
| 3. ニーダーザクセンのヴァデン海 | 10. レーン |
| 4. リューゲン | 11. チューリンゲンの森 |
| 5. シャール湖 | 12. バイエルの森 |
| 6. エルベ川峡谷湿地帯 | 13. ベルヒテスガーデン山 |
| 7. ショーフハイデコリーン | 14. プファルツの森 |